

日 時：2020年3月17日(火) 20時10分～21時15分

会 場：ふれあい歯科ごとう

参加者：五島、稲山、榎本、遠藤、栗原、齊藤、堀尾、吉田、佐藤(惟)

テーマ：最期まで口から食べた幸せは夫の手料理でした

～福祉用具の訓練期のお話～（報告者：栗原俊介）

<報告内容>

自己紹介…「福祉用具で最期まで口から食べる」につながる経験はなかなか少ない

■依頼内容

ケアマネより「1か月後に退院する方で困った人がいるから助けて！」

⇒ちょうど病院前にいたのですぐに訪問…これがご本人とご家族の信頼につながり良かった
支援の調整はすごく時間がかかった…1か月間、ほぼ毎週2-3回病院に訪問した

■アセスメント

- 67歳女性（当時） 夫と2人暮らし。脳梗塞、脊髄梗塞により左上下肢、右下肢麻痺 右上肢だけ
なんとか動く…寝返りは上半身だけ少しねじれるが寝返り不可
 - 食事姿勢が寝たままじゃないと食べられない…シーティングが必要
 - 病院内の移乗は3人介助…このままでは在宅で移乗はできない
 - 味覚障害があり、食事がほとんど摂取できていない。余命宣告済み…確か1年未満
- ⇒思ったこと…どーしよ(;・∀・)
- 良かった点もたくさん…意思疎通はご夫婦ともに聡明
夫は日中家にいられる。夫は「できることはしてあげたい」

■提案

- ①まず床ずれをなんとかしましょう！
 - ・ 病院のベッドにエアマットを納品…病院にあるエアマットは古くてダメだった
夫の介護負担軽減のため⇒体位変換の頻度と人が訪問する機会を減らす 医療費の削減
入院中のため自費レンタル⇒退院後の生活のために必要なら払います by 夫
 - ・ ポジショニングクッションの納品…安定した側臥位の提供
寝ていることを楽にしましょう⇒ポスチュアリング
- ②座位時間を少しでも伸ばしましょう！
 - ・ シーティング…ティルトリクライニングの車いすを借りる（ネッティⅢ）⇒移乗の見直し
- ③現地調査に同行させてください！
 - ・ 在宅で使う福祉用具の確認

■なんで移乗方法の見直しが大切？

家で生活が楽になるというイメージが出来上がらないと不安が解消しない！

- ・ 移乗の3人介助は家では実現できない。しかも、セラピストや看護師で3人
- ・ 家ではベッド上だけの生活？ 夫、もしくはヘルパーだけで移乗ができるようにする必要

夫やヘルパーさんだけで練習するのは怖い⇒リフトを病院で練習してもらおう！

新しい道具は安全な環境で練習すればできるのでは？ 病院ならセラピストや看護師もいるので安心

■福祉用具の訓練期

- ・ リハビリ中に夫がセラピストと一緒にリフトの練習開始…1週間たったら夫だけで移乗ができるようになりました(^^) シーティングとリフトを組み合わせた結果
- ・ 本人も家族も福祉用具に慣れる時間をしっかり確保できたため、家に帰っても同じ生活ができるという確信を得て不安が解消

■「慣れなさの底つき」(介護ロボット導入時の理論…リフトにも当てはまる)

- ①導入後3か月程度は以前より生活のクオリティーが下がる
- ②半年後に以前の水準に戻
- ③1年後には以前よりも生活のクオリティーが大幅に上がる

リフトを検討⇒専門職のもとリフトの練習(老健など)⇒慣れたリフトを自宅で活用という流れ
(在宅の訓練期を老健等の施設で行い、在宅復帰をスムーズにできるようにするプロジェクトを推進中)

■現地調査で福祉用具の選定

- ・ ベッドとかいろいろ
病院でエアマットを使ったら床ずれも完治したため、そのまま自宅でも導入
- ・ リフトも現地調査
入院中の体位変換、夜間は見守りだけにしてもらった…在宅で夜間の体位変換は難しいからリフトは上がり下がりするのでどれもほぼ一緒。
大切なのは吊り具(スリングシート)の選定…400種類くらいある。その人に合ったものを
- ・ 外出方法の確認
上がり框は60cm…高いので外出できない。車椅子で家に入れない
台所の掃き出し窓から段差解消機で動線作成
(東京都では出る頻度が少ない…埼玉や静岡ではたくさん出ている)

■無事退院、やっと食事の話

- ・ 退院後の夕方、衝撃的な一言…「お父さんが焼いた焼き魚、美味しかったのよ〜♪」
↑退院前日まで病院ではご飯が全く食べられなかったのに…
料理を作っている匂いや、家に帰ってきた安心からか食欲が出てきた
「どこで、誰と、何を食べるって大切なんだなあ…」と実感
- ・ 食事はベッド上で食べていた。誤嚥性肺炎にもならず、食べる量も確保できている
移乗するかしないか、選択しているならば問題ない

■その後…（2年弱のお付き合い）

「通院に言ったら病院で待たされて5時間座った」「桜を見に行ったら笑顔の写真を撮影」
「お孫さんの洋服を近くのイトーヨーカドーへ買いに行った」「近くのそば屋へ外出」
最期に…夫から亡くなった時のご様子を伺う。「お昼ご飯どうする？」「もういいから大丈夫」

<ディスカッション>

- ・ 福祉用具専門相談員でここまでやる人は少ない…「入れて終わり」が多い。
⇒福祉用具はたくさん回って用具を出して利益が出る仕組み。
1人の人にじっくり長く関わっても報酬が変わらないので、どうしてもそうになってしまう。
- ・ リフトはなかなかレンタルしない…福祉用具専門員でも出す人が少ない。
- ・ ハードルが高く感じる。家族が同居しているケースでしか使っていない。使うのも危険があるのではと思うことと、利用者が機械を見て啞然としてしまう。1回組み立ててみるけど「やっぱ無理」となってしまう事も。リフトは高額というのもある。
- ・ どういう人だとリフトが必要？
⇒家族が介護で「うっ」と言わなければならない人は入れたほうが良い。24時間すべてが訓練になってしまうと家族もつらい。休む時間と訓練の時間があってこそ。
- ・ 段差昇降のほうが使っている。かなりしっからはまる。ちょっと広い玄関なら使える。
ヘルパーさんの費用とスロープ代を合わせると段差昇降のほうが安くなるケースがある。
- ・ 病院にいた時は血圧が低くて座位も取れなかった…5時間座れるようになったのはなぜ？
⇒悪循環に陥っていたのでは？ 「座れない」という思い込みがあった。
「この車いすだったら座っていても大丈夫」と自信がついた。それで座れるようになった。
選定した道具の安心感もあると思う。「ネッティⅢ」
- ・ 退院してからお亡くなりになるまで器具は変わらなかったか？
⇒細かいものの出入り（クッションなど）はあったが、ほぼ変わらない。
最初に選んだベッド、エアマット、車いす1つも変わらず。
在宅に帰ってから最初の1か月くらいはちよくちよく行っていた。その後は半年くらい行かずに済んだ。「事前のアセスメントと調整がはまるとこんなに変化がなく済むんだ」と教えてもらった。
- ・ 「慣れなさの底つき」の理論が印象的。「慣れるまで半年」がかなり長く感じるかもしれない。
⇒入れ歯を作る時も同じ。一時的に生活のクオリティーが落ちても、先々で今よりも良くなるという見通しが持てるかどうか。
- ・ 歯がない人で柔らかいものばかり食べる人がいる。栄養面でものすごく偏り、糖尿が心配。
- ・ 歯がない人は歯茎が物凄く強くなって固い物を割って食べたりする。
⇒煎餅などは割れるが野菜や肉など引きちぎる動きの必要な物が全く食べられない。

- ・ 福祉用具の活用には介護力、生活環境、経済的なもの、いろんな事が絡んでくる。
このケースは福祉用具で12000点くらい使っていた。あとは人的資源を使わずにやっていた。
⇒「介護保険=人的」みたいなイメージがある。福祉用具も合致する人としらない人がいるかもしれない。
- ・ 訓練期のレンタル料が思いっきり安ければ借りる気が出るのでは。
⇒「在宅復帰支援プログラム」を現在企画している。
1か月間レンタル料があまりかからないプログラム、老健で進めている。
- ・ 最近は家屋調査を病院さんも積極的にやってくれる。かなり高いレベルで帰ってくる人が増えた。
- ・ セラピストが学校で在宅復帰の授業を全然受けていない。現場で初めてやることになる。
⇒先輩からの指導で善し悪しが決まってしまう。何でも入れがちの人もいる。後からケアマネと利用者
で話して断らなければならなくなる。在宅と施設が切れている。
- ・ 病院がこれだけ提案を聞いてくれたのがすごい。こういう連携ができると良い。
⇒「嫌われてもいいや」と思って言うだけ言ってみたら、対応してくれた。
対応してくれたOTさんがすごく良かった。感謝。病院側にも喜ばれた。
(K区のA病院。K区はシーティングのメッカ。シーティングの權威の先生が住んでいる。)
- ・ 障害の方でトイレのためだけにリフトを設置したケースもある。制度面から言っても障害のほうが
使えるかも？ ALSの方に推奨されている。
⇒最近では障害のほうが出にくくなっている
「介護保険でやってください」介護保険のレンタルで賄えるものは賄えるように言われている。
障害と介護の壁も福祉用具の世界ですごく問題になっている。車椅子作る人も減っている。

<論点まとめ>

- ・ 生活環境を整えることで「食べる」というところにつながった事例。
- ・ 「病気を治す」ではなく「病気や障害と共に生きる」を支えている印象。
- ・ 福祉用具は固定費…どうしても削ってしまう。でもしっかりかけないと見えないところで負担が増えてしまっているのではと感じる。ご家族のマインドもけっこう重要。
- ・ 今日の発表で使ったソフトすごい (XMind)。パワーポイントより良いのでは。
⇒今慣れている途中。慣れなさを底つき。

<次回予定>

日 時：2020年4月22日（水）19時30分～

場 所：ふれあい歯科ごとう

テーマ：9月のフォーラムに向けた論点整理①

以 上